

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

ミルキーランド保育園では、東京都が行っているすくわくプログラムに取り組んでいます。すくわくプログラムとは、子どもたちが好奇心や興味をもって、ワクワクしながら遊び、学べるように応援をする取り組みです。この取り組みを通して子どもたちの豊かな心の育ちをサポートしていきます。

今年度は、「音」「絵本」というテーマでプログラムを組みました。

1. 活動のテーマ

<絵本>

読み聞かせの時間で子どもとのやりとりを楽しんだり、好きな絵本を見つけて繰り返し読んでもらうことを喜んだり、絵本を通して子どもの興味を広げ、新たな発見につながる活動にする。

<テーマの設定理由>

子どもたちは絵本の読み聞かせをしてもらう時間が好きで、毎日読み聞かせを楽しみにしている。多くの絵本に触れることで、言葉が広がったり、創造する力がついたり、園目標にある「考える子」にもつながっていくと考えた。

2. 活動内容

新しい絵本を購入し、読み聞かせを行う。



絵本の読み聞かせを毎日行い、子どものリクエストに応じて好きな絵本を繰り返し読み、子どもが好きな絵本を見つけていきました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・新しい絵本を見せて興味を持てるようにどんな絵本があるのか紹介をしました。
- 子どもたちは、新しい絵本を喜び、身乗り出しながらどんな絵本があるのか見ていました。
- ・毎日数冊ずつ読み聞かせをしていく中で、「もう一回」「これがいい」などの声が聞けるようになり、絵本の題名も覚えてリクエストをする子もいました。
- ・「今日はなにを読もうかな？」の声掛けを合図に集まり、目をキラキラさせながら前のめりで待っている子もいました。

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・絵本の読み聞かせの時間が好きな子どもたちなので、新しい絵本を見た瞬間の興味を持った視線を強く感じることができた。一度に全部読んでほしいと訴えるくらいに興味を持っていたので、保育者が働きかけることが必要ないほどだった。
- ・繰り返し読み聞かせていく中で、好きな絵本がだいたい分かり、ある程度物語になっているもののほうが、集中して見ていることが分かった。
- ・言葉の繰り返しなどもすぐに覚え、保育者の読み聞かせに合わせて一緒に言えることが楽しいようだった。

活動のテーマ

<音楽>

- ・子供たちが見たことのない楽器を手にした時、わくわく感を味わい、どのようにして奏でるのか？どんな音がでるのか体験して、知っている歌に併せて全園児で合奏を試みる。

<テーマの設定理由>

日ごろから音楽が聞こえてくると体を動かして表現している様子が見られていた。その中で自然に手拍子が始まるため、楽器を持ったらもっと色々な表現ができたり、歌に興味を持てるのでは？と思い設定した。

<活動の内容>

- ・新しい楽器を購入し、手に取り奏でてみる。
- ・保育活動の際、単クラスで実践したりまた合同で実践して合奏会ごっこを試みる。
- ・運動会で親子で奏でる楽器遊び運動に繋げ、2歳児の思い出の運動会になるようにする。

2歳児：丸いパットを床に置くと座り込んで研究したり、色の名前を言って「あか」「あお」「みどり」などと、色の名前を言いながら色あてゲームに発展。

その後保育者がやり方を見せると「わー」「すごいねー」とワクワクドキドキの様子でした。

一步一步、歩き進み一音一音が奏でるたびに笑顔があふれていて、保育者が「赤はドの音だね」「オレンジはシの音だね」などと言葉をかけていくうちに、子どもたちは「ど!」「れ!」「み!」・・・と自然に言葉にしながら奏でていました。



0.1歳児：2歳児が遊んでいた様子を見て、0.1歳児も興味津々の様子でした。はじめは恐る恐るパットを踏んだり、手で押してみましたが、鳴り響く音に興味し「わー」と歓喜満ちた表情を浮かべ、もっとやりたいと意欲を見せていました。

また、合同保育で運動遊びとして取り入れ、ネットをくぐったらパットを踏んで進むよう設定をしてみると、繰り返して行くうちにリズムカルにいろいろな音を出して楽しんでいました。

2歳児運動会：ミュージックパットを親子競技として取り入れました。親子で手をつなぎ「ど」「れ」「み」と言いながら楽しそうに奏でている姿が素敵な光景でした。



<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・丸いマットを押すとプーと音が鳴ることによって興味をもつことができた。
- ・“押すと音が出る”ということを知ったことで手で押してみたり足で踏んではみたりと子どもたちは思い思いの音の出し方を楽しんでいた。
- ・音を出すこと理解したので保育者が「ど」「れ」「み」と音階を知らせていった。聞こえる感覚で音階を言い当てる子、パットの色で音階を覚える子がいることがわかり、面白い気づきだった。
- ・運動遊びと一緒に取り入れたことでリズムカルな奏で方も身についていた。また、運動会の親子競技に取り入れたことで親子で一緒に音楽を楽しめる時間を設けることができた。

